



# 神石小だより

神石高原町立神石小学校  
学校だより 10月号  
令和3年10月14日

## 第38回神石小学校授業公開



10月13日（水）に、授業公開を行いました。今年度、神石小学校では、「主体的・協働的に学び合う子どもの育成」を研究主題とし、算数の授業を中心に子ども達が意欲をもって、友達としっかりと話し合いながら課題を解決していく授業づくりを目指して研究に取り組んで参りました。保護者の皆さんや町内の学校関係者の方にご参会いただき、これまでの研究の一端を公開することができました。授業の中では、学習リーダーを中心に自分たちで学習を進めていく様子や練り合い（児童が自分の考えを伝え合い、よりよい考えを導き出す）の様子を観ていただくことができたのではないかと思います。ご参観ありがとうございました。

今後も子ども達の学びと育ちをより確かなものとなるよう、職員一同力を尽くして参りますので、引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。



## 学び合い「神石INGの木」

授業公開に向け、より活発に意見交流し学び合う力や学習したことを自分の言葉でまとめる力を高めることを目指し、全校で“学び合い「神石INGの木」”に取り組みました。これは、授業の中で以下のようなことができれば「神石INGの木」にシールが貼れるようにし、学級ごとにどんどんと木を实らせていきました。

- ① 全員発話（1時間の授業の中でペアトークを5回以上行い、全員5回以上発話できれば**王冠**シール）
- ② 学び合い発言（発言のレベルに応じてポイントを加算し、たまったポイント分シール）  
レベル1（1ポイント）・・・自分の考えを発言する。  
レベル2（2ポイント）・・・友達の考えを自分の言葉で発言する。  
レベル3（3ポイント）・・・友達の考えを受けて自分の考えを発言する。
- ③ ペアまたはグループで協力してまとめを考え、ノートにまとめを書くことができたペアまたはグループの数だけ**賞**シール【2～6年】
- ③ 1時間の授業の中で全員発言できれば**賞**シール【1年】



### 【児童のふいかえい】

○神石INGの木をして、今まであまり発表ができなかった人もたくさん発表したり、グループになったときもしっかり友達と協力して考えたりできました。

○神石INGの木に取り組んで、たくさん発表する力をつけることができました。これからも友達の考えをよく聞いて、学び合い、思いやりのある学校にしていきたいです。

## 神石高原町陸上記録会(5・6年生)



9月28日(火)、「神石高原町陸上記録会」を行いました。今年度も町内の5・6年生が一堂に会して実施することができず、昨年度に引き続き各校で実施し、記録を持ち寄る形での開催となりました。神石小学校の5・6年生の児童は、9月はじめから約三週間、体育の時間や休憩時間、放課後に練習に取り組んできました。当日は、これまでの練習の成果をしっかりと発揮することができました。練習へのご協力や当日の声援など、ありがとうございました。



## 福祉体験学習

9月21日(火)に、社会福祉協議会の秋山さん、柴迫さん、千後瀧さんにご来校いただき、5年生が福祉体験学習を行いました。



高齢者疑似体験や車椅子体験を通して、どのようなことに生活のしにくさを感じるのか、どのようにサポートすることが相手のためになるのかなど実感を伴いながら学ぶことができました。

## 10月・11月の主な行事予定

- |     |     |     |                      |
|-----|-----|-----|----------------------|
| 10月 | 26日 | (火) | 学校運営協議会              |
|     | 29日 | (金) | 社会見学(6年)             |
| 11月 | 5日  | (金) | 一斉地震防災訓練             |
|     | 8日  | (月) | 走り方教室(6年)            |
|     | 14日 | (日) | 学習発表会                |
|     | 15日 | (月) | 振替休業日                |
|     | 16日 | (火) | 神石高原中学校<br>クラブ体験(6年) |

## 失敗をおそれず、挑戦しよう！

校長 田丸 栄

清々しい秋晴れの日が多くなり、子どもたちが運動場で遊ぶ日が多くなっています。「芸術の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」……など、何をするのによい季節ということでしょうか。

さて、四月からの新しい年度も折り返し地点を迎えました。この時期は、年度当初思い描いていた「〇〇をするぞ!」といった、目標をもって挑戦しようとする思いが、だんだんと薄れてくる時期でもあります。そんな時だからこそ、今一度、「失敗をおそれず挑戦すること」をがんばってほしいと思います。

しかし、この「失敗をおそれず……」が難しいのです。オリンピック種目にもあった柔道では、「勝ちたい」という思いが強くなりすぎ、「負けたら(失敗したら)いけない!」という気持ちに変化し、最終的には消極的な態度となり、「指導」を何度も受け敗れていく選手が多かったです。そして、逆に「失敗をおそれず」今までは勝てなかった選手に対しても、どんどん立ち向かった選手が勝利を収めることが多かったようです。

さて、子どもたちに目を向けると、授業の時には、「よい考え(正しい答え)」を言わなければならないと思うあまり、「間違っはいけない」という気持ちが強くなり、発言しようかどうかと躊躇してしまう子どもが多くなります。また、ふだんの生活の中でも、ここで「大きな声で返事をする(正しい反応をする)」と、周りの人から何か言われる(思われる)のではないかと、返事の声が小さくなったり言えなかったりすることもあります。

一方で、休憩時間に、間違っても間違っても、何度でも鼓隊の演習をする子ども達の姿をよく目にします。学級全体では発表できなかった自分の思いをグループ学習でがんばって伝えようとしている子ども達も多くなります。このように「失敗したくない」という思いを「挑戦しよう」という姿に変えた原動力は、周りに思いを受け入れる(認める)人がいるかどうかだと改めて感じているところです。「よい返事をありがとう。」「間違ってもいいよ。」「言って(やって)ごらん。」「そんなこと思っているんだね。」「……などと、「失敗してもいいこと」や「聞いてるよ」という言葉を周りからしっかりと子どもたちに伝えていくことを続けていくことこそが、「間違ってもいい」「挑戦しよう」という気持ちを子ども達にもたせることにつながっていくのではないのでしょうか。今日もがんばってあいさつや返事をし、迷いながら挑戦している子ども達に、「〇〇してもいいんだよ。」「よいあいさつ(返事)をありがとう。」と子ども達に返して、子ども達の挑戦する心を育てていきたいと思ひます。

いじめ、体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口について

神石小学校に相談窓口を設置しております。児童や教職員に関して相談の窓口を設けています。小さな事でもご相談ください。担当は、相原教頭・高石教諭・重松養護教諭です。

神石小学校の教育活動をホームページでも公開していますので、ご覧ください

[jinsekigun.jp/school/jinsekisho/](http://jinsekigun.jp/school/jinsekisho/)